

しんぐうまち しょう・ちゅうがっこう がくしゅうがいと
『みらいへのかけはし』

() しょうがっこう
(1) ねん () くみ



なまえ (ていねいに かきましょう。)

しょうがっこう 1ねんせい こくご

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

15 ページまでの学習は、学校再開後、学級で行います。

(16・17ページの「じを かく しせい」「ての おきかた」に気をつけて)では、正しい鉛筆の持ち方と姿勢について学びます。教科書を読んであげながら、お子さんの鉛筆の持ち方を確認してみてください。

1日目は、18ページの「れんしゅう」をなぞり書きします。

お子さんが線をなぞる前に、急がずじっくりなぞるよう声掛けをしてあげてください。お子さんが線をなぞり始めたら、①姿勢、②鉛筆の持ち方、③はみ出さずになぞることができているかに注目して見守ります。一つでも上達してきたら「背筋が伸びていいね。」「鉛筆の持ち方がいいね。」等と、お子さんの頑張りを認めてあげてください。

2日目は、19ページの「つくし」「へい」「こい」をなぞり書きして、まずに書き込んでいきます。

1日目同様、お子さんの頑張りを認めてあげてください。

3日目は、20・21ページ「あいうえおの うた」を読んでいます。

まずは、家の方が範読(*範読とは、お手本となる読み方を聞かせることです。)してあげてください。そして、続けて読んでいくように促してください。その際、語のまともりや口形に気をつけて音読できていたら大いに褒めてあげてください。

4日目は、22・23ページ「あいうえおの ことばを あつめよう」で、言葉を集めていきます。

まず「あ」「い」「う」「え」「お」をなぞり書きをしていきます。次に、絵などを参考にしながら「あ」「い」「う」「え」「お」から始まる言葉をさがすように促してあげてください。(「あ」から始まる言葉はどんな言葉があるかな?と尋ねてあげてください。)

5日目は、26～31 ページ「あめですよ」を読んでいきます。

まずは、家の方が連（まとまり）ごとに範読してあげてください。そして、続けて読んでいくように促してください。全文を約1分で読めるようになったら、大いに褒めてあげてください。

次に、「だれが出てきたかな？」と出てきた順番に言えるように促してあげてください。（絵を参考に）順番通りに言えるようになったら褒めてあげてください。

最後に、31 ページの「め」「か」「さ」をなぞり書きしていきます。

6日目は、まずは32 ページの「ふた」「ぶた」、「はね」「ばね」のちがうところ（清音と濁点）に気をつけて読んでいきます。

次に、「ふた」「ぶた」「はね」「ばね」をなぞり書きしていきます。もし時間があれば濁音（あじ・かぎ・だい・でんき など）を見つけられるように促してあげてください。たくさん見つけられたら大いに褒めてあげてください。

7日目は、まず33 ページの「つなひき」「はなび」「えんぴつ」を読んでいきます。

次に、「つなひき」「はなび」「えんぴつ」をなぞり書きしていきます。もし時間があれば半濁音（ペン・ペリかん など）を見つけられるように促してあげてください。たくさん見つけられたら大いに褒めてあげてください。

8日目は、34 ページの「ぶんをつくろう」を読んでいきます。

ここでは、主語と述語の関係を考えて「～が～」の文型で文を作ることが大切です。まずは、上の写真を見ながら3つの文を読んでいきます。上手に読めたら大いに褒めてあげてください。

9日目は、35 ページの動物の写真を選んで、「～が～」と文を作っていきます。

（ねこがたつ。いるかがおよぐ。 など）最後に、生活の中で文を作ることができたら大いに褒めてあげてください。

しょうがっこう 1ねんせい さんすう

★はじめに★

4まいの しゃしんを よく みてみよう。

ひょうしを めくって もくじを よんでみましょう。

1ねんせいでは どんな がくしゅうを するのかな。たのしみですね。

- (1) ひょうしの えの こびとさんや どうぶつさんたちはなにを はなしているか かんがえてみましょう。
- (2) 2ぺえじと3ぺえじを みて ぞうさんと いぬさんががっこうに つくまでに みるものを いってみましょう。
- (3) 4ぺえじと5ぺえじを みて とりさんとすばこ、ちょうちょさんとちゅうりっぷ、かえるさんとはっぱを せんで つなぎましょう。
- (4) 6ぺえじと7ぺえじを みて ばけつや じょうろやおはなの かずを かぞえてみましょう。
- (5) おうちのなかや おうちのちかくにあるものの かずをかぞえてみましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

1年生はひらがなの学習が済んでいませんので、ノートに書くことは課題に入れていませんが、可能であれば、お子さんと一緒に読み書きにも取り組ませてみて下さい。

ガイドのポイント

- (1) 算数科の学習に期待や興味をもたせるのがねらいです。登場人物が何を話しているのか、何をしているのか等、表紙を見ながら親子で一緒に想像をしながら話をして下さい。数を数えさせるのも良いです。ご兄弟がいる場合は他の学年の表紙と比べてみるのも良いです。
- (2) 道をたどりながら途中で何があるのかを探させて下さい。数に着目させて、可能なら写真にあるように、同じ仲間を囲ませて下さい。
- (3) 対応する絵を線でつなげさせます。お話を考えたり、いくつあるか数えたりしながら活動をさせて下さい。
- (4) 授業では、算数ブロックをのせて数を数えさせます。クリップや硬貨などを載せて数えさせても良いです。
- (5) 身の回りにある物(本や洋服、靴など)を数えさせてください。できるなら紙に書かせても良いです。(例: えほん・・5さつ) あまり多い物は難しいので数える物については一緒に考えてあげてください。10以下の数からとりかかってみる

と良いと思います。

※ 子ども達は経験したことのない状況でストレスを抱えています。間違えたり、できなかったりしても、叱ることなく、温かい雰囲気の中で学習に取り組ませて頂きますよう、よろしくお願いします。また、できたときには、しっかりとほめてあげてください。今後の自信につながります。

※ 算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。